

3り光

No.165 2024. 3

発行 真言宗 豊山派
北田山 寶泉寺
所沢市北岩岡 130
編集 色 摩 真 了
ホームページアドレス
takaranoizumi.com

お大師様ご生誕の地を訪ねて



令和6年初春、仕事半分旅行半分で四国に出かけてきました。目的の一つは、お大師様ご生誕の地、善通寺(香川県善通寺市)参拝。

のどかな街並みにとてもよく馴染んだ善通寺境内には、立派な本堂をはじめ、お大師様が産声をあげた佐伯邸跡(現御影堂)、五重塔、樹齢千数百年の大楠などが立ち並び、参詣者を優しく出迎えてくれます。

境内を散策していると、それらのかもしだす空気が、お大師様の走りまわるお姿や、熱心に勉強するお姿など、その幼き頃を思い起こさせてくれるようで何とも不思議な気持ちになりました。

たった2泊3日の行程だったものの(でもしっかり4件のうどん屋にも行きましたよ~)、この短い期間で強く感じたのが、飲食店でもコンビニでも宿泊先でも対応してくれる方々がとても親切だったこと。それは四国八十八か所を巡礼するお遍路さんへの接待文化が根底にあるからかもしれません。言い換えれば、お大師様の存在とその教えが今も息づいている証でもあるでしょう。

うるう年は特に巡礼のご利益が高まる年と言われています。お遍路に興味のお持ちの方は今年が狙い目かもしれませんね(大住職の遍路紀行も併せてお読みください)。



やっぱりぶっかけうどん!



善通寺山門にて

檀信徒のおつとめを読む⑨



9. 般若心経 (p9)

さて、ようやく般若心経までたどり着きました。

「般若」は「智慧」、「波羅蜜(多)」は「到彼岸」の意。その心髄を説いているので般若心経です。

あらゆる物質も精神作用(知覚や意志、好き嫌いや優劣などの価値観)も実体を持たない「空」であり、故に常に変化し続けます(諸行無常)。また、存在は関係(縁)によって成り立ち、その現れ方は自らの心の働きによると説かれます。

本来「永遠も絶対もない」物事への執着が「苦」を生むので、それを理解し、拘りから離れるのが仏の智慧と言えるでしょう。

「永遠も絶対もない」と思うと少し寂しい気もしますね。ただ、この発想には「だからこそ私たちは自由で何にでも成れる」というポジティブな側面もあり、般若心経はむしろこの趣旨から説かれたとも伝えられています。

仏説摩訶般若波羅蜜多心経
親自在菩薩行深般若波羅蜜多時照見五
蘊皆空度一切苦厄舍利子色不異空

「あきつの園」さんのお手伝い

10年以上前から社会福祉事業所「あきつの園」の皆さんが月2回、境内の掃除に来てくれています。

先日、お墓参りに訪れていたご婦人が、その姿を見ていたく感激されお菓子の差し入れをしてくださいました。こんな交流もお寺ならではかもしれませんね。

清掃中に会うことがあればお気軽に挨拶を交わしていただけたらと思います。



あきつの園の皆さん

写経・ご詠歌・法話カフェ のススメ

寶泉寺では月2回「写経の会」

(第2・4月曜日10時～)と「ご詠歌の集い」(第2・4水曜日13時半～)を、開いています。

また、皆で話し合う法話会「法話カフェ」も月一度開催しています。興味のおありの方はお気軽にお尋ねください。

法話カフェ令和6年7月までの開催日は以下のとおりです。

3月24日、4月28日、5月26日、6月23日、7月28日。

※いずれも13時半～



老僧のつづき

18

四国遍路 その2

一番札所霊山寺が参拝のスタート、車とはいえ駐車場をあとにすればそれなりに階段や坂道がまっています。座骨神経痛は承知のうえ痛みを感じながら一日を終えました。

翌日は遍路ころがして名高い焼山寺への山越え、6キロ6時間のどうしても歩きたかった行程の一つです。途中には三カ所の番外札所があり、これも是非ともお参りしたい札所です。車を預けて朝一番のお参りを済ませて痛みの心配とともに一步を踏み出すと、なんと歩けるではありませんか。ダメなら戻るつもりでしたが何とか行けそう、予定は行程の半分までで折り返して車に戻り一日を終えるものです。

今では歩き遍路が隆盛、それに日課として歩いている人、またトレイルランと山道での出会いがありました。時折ふり返り吉野川と町並みや田園を見渡しながら小憩、途中の庵は無人であった状況、50年前はどなたかがいて納経印もいただけたのに今は焼山寺でまとめていただきます。この頃には座骨神経痛は忘れてしまっていました。ちょうど行程の半分で折り返し車に戻り一日を終えました。

ところで神経痛の痛みはなぜ出なかったのだろうか。以下は小僧(しょうそう)なりの考察。体の不調はヒトの二足歩行からと言う説があり、腰を伸ばし、反らすのは腰に悪い姿勢です。神経痛のケアにはハイハイが良いと説いている専門家もいます。山道を歩くのは自然と前屈みの姿勢になり腰の負担が少なく、そして二本のポールが大きな助けとなります。これこそ四足歩行、登りも下りも両腕は大きな役割をはたしてくれたものと思えました。

つづく。



「遍路小屋」

以前、札所にはお通夜堂という歩き遍路が一夜を過ごすお堂がいくつかもありました。今ではコースの路傍にこのようなお遍路さん用の建物が用意されて利用されています。

今年も雑木林の作業に
お手伝いいただけませんか！

4月3日(水)、午前9時からお昼まで。
こちらで昼食を用意しておきます。

5年目になりました。作業服、タオル、軍手など、あればノコギリ、ナタなどもお持ちください。お手伝い願える方はぜひお知らせください。

☎04-2943-2467

護摩法要

日時：3月21日(木) 14時開始

会場：寶泉寺大師堂

煩惱を焼き払い、私たちの願いを仏様に届けるために行うのが護摩供です。皆様の願いが書かれた護摩木をお焚き上げします。ご希望の方は大師堂にてご記入ください。法要の開始直前まで受けつけています。もちろん、ご参列も大歓迎です。



花まつり

日時：4月6日、7日、8日 10時~15時
会場：寶泉寺 本堂

誕生仏をまつる花御堂



4月8日はお釈迦様のお誕生日で、

花まつりと呼ばれています。

今年も3日間にわたり本堂を開放し、期間中堂内で腕輪念珠が作れるよう準備しています。どなたでもお気軽にお参りください(念珠はお一人につき一つまでは無料です)。

編集後記

- ・漫画家鳥山明氏と声優 TARAKO さんが立て続けに他界。あられちゃんにドラゴンボール、ドラゴンクエスト、ちびまる子ちゃん等幼少時代から真ん中の偉人に感謝の気持ちしかない。心よりご冥福をお祈り申し上げます。(真了)
- ・能登半島地震。今年は震災で一年が始まった。そしてこれを書く今日は東日本大震災後13年、原発事故の後処理が進まない。毎日新聞によると880トンの燃料デブリが残されているといい、今年耳かき1杯分(数㌔)を試験的に取り出す方針という。放射能事故はなにもかも天文学的数字だ。(琴)

Mar. 11. 2024